

会議要録

会議の名称	平成23年度 第2回文化財保護委員会
日時	平成23年10月4日（火） 14:00～
場所	和光市役所 6階603会議室
出席者 ※敬称略	【文化財保護委員】9名中、7名が出席 田中明、副島元子、後藤友子、矢崎康彦、小田部玲子、鈴木夕季、森朋久 ※欠席者：2名 富岡進、鈴木敏弘 【事務局】 大久保昭男（教育長）、富澤勝広（教育部長）、星野裕司（生涯学習課長）、 鈴木一郎（文化財保護担当統括主査）、中岡貴裕（文化財保護担当）、 渡辺潤（文化財保護担当）
傍聴者	1名

1 開会

事務局から次の事項を確認。

- ①本日の会議は公開である。
- ②会議録は要点記録とし、作成後公開する。

2 教育長あいさつ

3 委員委嘱式

<生涯学習課より説明>

平成23年6月30日に和光市文化財保護委員会委員の任期が満了したことに伴い、新たに文化財保護委員を委嘱させていただく。なお、委員の構成については平成23年6月30日に開催された和光市教育委員会定例会で承認されている。

<委員による自己紹介>

出席委員による自己紹介。

なお、当日欠席の富岡進委員と鈴木敏弘委員については、事務局が代わりに紹介した。

4 協議・報告

(1) 委員長・副委員長の選出

<生涯学習課より説明>

和光市文化財保護委員会規則第5条に基づき、委員長・副委員長を選出する必要がある。同条第2項に「委員長及び副委員長は互選による」とあるため、各委員からご意見をいただきたい。

ご意見が無いようであれば事務局から提案させていただいてよろしいか。

→【委員一同】異議なし。

<事務局提案>

前回の文化財保護委員会委員長（田中明）及び副委員長（副島元子）に再度お願いしたい。

→【委員一同】異議なし。

<結論>

・委員長・副委員長は次のとおり。

→委員長：田中明

副委員長：副島元子

任 期：平成23年7月1日から平成25年6月30日まで。

(2) 平成22年度事業報告および23年度事業予定・中間報告について

<生涯学習課より説明>

・生涯学習課より、別紙資料等に沿って概要説明。

<質疑>

・特になし。

(3) 和光市デジタルミュージアムについて

<生涯学習課より説明>

デジタルミュージアム構築事業は、平成23年度中にシステムの構築を行い、平成24年4月1日に一般公開を目指すものである。

デジタルミュージアムの構築業務委託業者の選定にあたっては、教育部長、生涯学習課・市政情報課・人権文化課の職員及び文化財保護委員の副島委員、文化財に専門知識を有する市民による8名で、和光市デジタルミュージアム構築事業委託業者選定委員会を構成し、検討した。

8月5日に第1回、9月8日に第2回の選定委員会を開催し、第2回の選定委員会において業務委託業者を選定した。業者の決定にあたっては、指名型のプロポーザルを実施し、指名した5社のうち2社から参加希望があり、各社によるプレゼンテーション及びヒアリングを経て、選定した。

デジタルミュージアムは、和光市の歴史・遺跡・市指定文化財・伝説と昔話・文化人等、和光市の歴史的な情報が閲覧者にわかりやすく工夫し、また、まちの景観を過去と現在の写真で見比べるページ・古地図のページ及び、市文化財を検索できるデータベースの機能を持たせたものを予定している。動画・写真を使い、デジタルミュージアムの公開により和光市の文化財情報の発信を広めたいと考えている。

<質疑・意見交換>

・市役所のホームページから入るものか。

→市役所のホームページにリンクさせ、閲覧することになる。ただし、外部のレンタル

サーバを利用するものであるため、市のページとは別サーバとなる。

- ・更新は市の職員で可能か。
→可能な仕様としている。
- ・写真を見やすくする工夫などはしてあるか。
→クリックで写真が拡大できる等の機能を想定しているが、今後業者と詰めていきたい。
小学生なども教材として利用できるようにしていきたい。
- ・データベースの構築となると、サーバは重くなりすぎないか。
→サーバは一定の容量を用意しており、対応可能である。
- ・できあがったものは、必要に応じてどんどん変えていけるものであればと思う。
- ・市民に広く公開し、市民にとって文化財が身近な存在となっていければよい。

(4) その他

<小田部委員から報告>

先日の台風 15 号によって長照寺大いちょうに枝折れ等があったので報告する。

台風の翌日に現地を確認したところ、太い枝が折れていたことがわかった。中はウロ状になっていることを確認した。

長照寺の大いちょうは、樹勢そのものは元気だが、ウロになっている箇所も見受けられる。しかし、この大いちょうは病気というよりも、「老齢」によるところが大きく、治療ではなく見守りの段階ではないかと考えている。経過を観察し、必要に応じたメンテナンスなどを考えるべきである。

<鈴木（夕）委員から報告>

今年度、南公民館を会場に、白子囃子体験教室を開催している。

今回は参加者数が例年に比べて少ない。しかし、参加者の中には先日熊野神社で行われた祭礼に参加してくれた方もいる。

さらに周知し、途中参加の方も増やしていきたいと思っている。

<田中委員長から報告>

市民の方から、民具の寄贈の申出をいただいている。

現物を確認してから、受け入れの可否を判断したいと先方には伝えてあるので、事務局と調整し、確認に行きたいと思うが、よろしいか。

→【委員一同】異議なし。

田中委員長と事務局で現物を確認し、受け入れの可否を判断する。

5 閉会